

下関市指定管理候補者選定委員会
(下関市勤労青少年ホーム、下関市勤労福祉会館
及び下関市勤労者総合福祉センター)
議事録(要点)

日 時：令和 7 年 1 0 月 2 0 日(月) 午後 1 時 0 0 分～午後 4 時 2 5 分
場 所：下関商工会館 3 階 第 2 研修室
出席委員：A 委員、B 委員、C 委員、D 委員、E 委員 計 5 人
〔議事録中の A～E 委員は、選定委員会の審査結果中の A～E
委員とは、それぞれ同一の委員ではありません。〕
事 務 局：下関市産業振興部 部次長(産業振興課長事務取扱)
産業振興課職員 3 人
産業立地・就業支援課長
産業立地・就業支援課職員 3 人

次 第

1 はじめに

- (1) 委員長の選任
- (2) 委員長あいさつ

2 選定委員会

- (1) 開会
- (2) 概要の説明
- (3) 審査基準の決定
- (4) プレゼンテーション及び質疑応答

ア 下関市勤労者総合福祉センター(公募)

イ 下関市勤労青少年ホーム(公募)

ウ 下関市商工業振興センター(非公募)

エ 下関市勤労福祉会館(非公募)

※ ウの下関市商工業振興センターについては、「下関市商工業
振興センターに係る指定管理候補者の選定結果について」に
掲載

- (5) 選定審査
- (6) 閉会

1 はじめに

【事務局】

委員 5 人全員の出席により、「下関市公の施設における指定管理
者の指定手続等に関する条例施行規則」(以下、「規則」という。)

第9条第3項の規定によって、会議が成立していることを報告した。

(1) 委員長の選任

委員の互選により、委員長を選任した。

(2) 委員長あいさつ

2 選定委員会

(1) 開会

開会のあいさつ

(2) 概要の説明

【事務局】

委員会の設置目的、指定管理期間、指定管理候補者の選定から指定管理者として指定されるまでについて、説明した。

ア 議事録の決裁

事務局も決裁に加わる形での「委員長一任」を提案した。

<異議なし>

イ 議事録の公表について、説明した。

ウ 会議の公開・非公開

規則第9条第5項により「公開が原則」であるが、委員会が必要と認める場合は、非公開とすることができる。

応募団体の提案書に含まれるアイデアや著作権の保護、選定まで、率直な意見の交換や意思決定の中立性が不当に損なわれないようにするなど、円滑な審理を確保するため、非公開を提案した。

<異議なし>

エ 各施設の状況

施設概要説明

オ 非公募の説明

下関市勤労福祉会館の管理運営を目的に設立された公益財団法人が管理運営することが適切と考え、非公募とし、公益財団法人下関勤労福祉振興財団を指定管理候補者として単独指定している。

カ タイムスケジュール

プレゼンテーション 15分程度

質疑応答 10分程度

採点 5分程度

(3) 審査基準の決定

【事務局】

次のとおり説明し、審議を依頼した。

- ・指定管理者制度ガイドラインの指定管理候補者選定（審査）の基準・着眼点（モデル案）」を元に事務局案を作成
- ・採点方式で1人100点満点とし、最低制限基準点数を60点とする。
- ・指定管理候補者が満たすべき条件は、過半数の委員が60点以上に達しており、かつ平均点が60点以上であること。

<意見なし>

(4) プレゼンテーション及び質疑応答

事務局から採点表を配布。

ア 下関市勤労者総合福祉センター（公募）

（ア）応募者：団体A 入室3人

発言者	内容
団体A	（プレゼンテーション資料及びパワーポイントにより提案内容説明）
A委員	ボランティアの関係で提案いただいた。この施設は、勤労者のための施設である。提案の中で、社会福祉協議会や市民活動センターのボランティアギルドとの連携とあるが、イメージがわからないので説明いただきたい。
団体A	ボランティアギルドは、しものせき市民活動センターにて運営されているボランティア組織である。主にイベントや社会奉仕活動を行っている。ただ、勤労者マンツーマンでのやりとりが難しいため、企業・雇用主を通してワンステップの登録を企業にお願いするかたちが建設的であると考えます。もちろん、ホームページやWEBサイト、SNSを通じて個人として登録していただくこともあるが、それにプラスして企業に協力していただくことが必要である。ボランティアをしたい人、ボランティアを募集したい企業や団体をつないでいくことを想定している。 補足であるが、先ほどの外国人の交流について提案したが、外国人労働者が増加している。組合などの受け入れ機関はあるが、日常的な配慮が細かくできていないわけではない。ボランティアギル

	ドの団体において、外国人の支援をしている団体がいくつかある。そういった団体と連携しながら、例えばスポーツの交流やベトナムであれば2月が昔の日本のお正月にあたるため、そのようなイベントに取り組んで地域の方と交流を図ることもある。勤労者総合福祉センターで、そういった一歩進んだ取り組みを行っていききたい。
B 委員	自主事業ではイベントを実施すると記載があるが、今まで実施してきたイベントを継続するなど、そのあたりの考えはいかがか。
団体 A	今現在開催されている講座であるか。
B 委員	今現在、アクティブセンターを借りて講座を開催している業者もいると思う。
団体 A	業者として会場を借りているのであれば、会場貸しの部分になるので有難い話である。 今、自主事業として指定管理者が開催している内容を、今後自主事業として実施したいと考えている。
B 委員	提案書に開催される月が記載されていたため、その月に実施するということか。
団体 A	その通りである。
B 委員	回数が多いように見受けられるが、4人の職員で運営するということであるが、そのあたりの人員配置は問題ないか。
団体 A	こちらについては、本社のバックアップも必要であると思う。特に企画運営面に2～3人の職員が必要であるため、不足する分については本社から派遣してサポートしていく。
B 委員	管理者について記載があるが、その方は貴社で雇用されている方か。
団体 A	既に雇用されている職員がセンター長になる予定である。

B委員	他の職員については、既に雇用されている別の施設の職員を充てるのか。
団体A	まずは、現在のアクティブセンターで雇用されている方にアプローチする。その方達の職が失われることも問題となるため、継続雇用が可能であれば、雇用したい。ただ条件が合わなければ難しいところがあるため、職員が不足するようであれば、弊社の職員を充てるか、公募することとなる。
C委員	認知度をあげるための提案をいただいているが、ホームページやSNSでの周知も必要になると思う。また、企業からの協賛を受けるにもネットワークが必要になると思う。そのあたりのノウハウは既に貴社で持っていて、そういったノウハウを活用するのか。
団体A	ホームページも公共施設であると、なかなか閲覧されない。FacebookやSNSも閲覧されない。ただ、情報をあげておかないと検索されないの、そこをカバーするためのものである。それが勤労者に直接つながるのであれば良いが、なかなか皆さん苦勞している。SNSに動画を掲載して、奇をてらったものはバズることもあるが、この施設でそういったことが合うかは考えなければならぬが、まずはネットサイトに掲載する必要がある。例えば、婚活マッチングイベントをしているという情報を企業が耳に入れて検索すると、ホームページやSNSにひっかかるということが必要ではないかと思う。また、ホームページやSNSを年々、工夫を凝らしていきたい。 次の課題にある企業の協賛であるが、まずは補助金制度を考えていたが、税金を使用することとなるため、まずは民間からお願いできないかと思っている。長府扇町は企業がたくさんある。そういった企業に説明しながら、協力いただければと思う。実際に企業に足を運んで、担当者や代表者の方に話をするといったことが必要になるかと思う。
A委員	フリーWi-Fiを設置する提案を受けているが、どのように設置する予定か。
団体A	かなり大きい施設であるため、本気で設置しようとする多額に

	なる。必要な場所に最低限設置しようと思うが、昔でいうと各部屋にW i - F i のポイントを設置していたが、今はメッシュW i - F i といって、元のルーターと同じ程度の出力が複数つながるというものがある。●●施設は大きな施設ではないが、全館をフリーW i - F i にするため、4 台設置していて、実験したところ、うまくいっている。そのため、アクティブセンターにおいても費用がかかるが、各部屋にメッシュW i - F i を設置して、大体の場所を網羅したい。費用的な面においても、当初はネットショッピングなどで安く入手し、もし不具合があれば、グレードアップしたりということをしていきたい。
A委員	その費用は。
団体A	自主事業で実施する。コワーキングスペース設置の下部に記載している。
A委員	収支計画には記載されていないのか。
団体A	自主事業であるため、収支計画には記載していない。 全館を網羅しようとするとなかなか難しいため、まずはロビーであったり、2 階の部屋であったり、それができれば、他の会議室に設置したい。
A委員	コワーキングスペースは、W i - F i がなければ難しいのであろう。
団体A	◆◆施設であれば、利用者は一定数ある。位置的なものもあるかと思うが、W i - F i があるということで、学生が使用したり、サラリーマンの方が仕事で使用している。 アクティブセンターの場合は、仕事帰りにアクティブセンターに寄ったり、土曜や休日ですといった時間を作りたいという気持ちで提案した。自身が営業職をしていた際に、お客さんが「見積書を送付してほしい。」という連絡があった際に、会社に戻るには時間がかかったり、会社にいること自体が悪と捉えられることがあると、どこかでパソコンを開きたいということがあった。また、資格取得の勉強をしようとしても会社では勉強しづらい、また、家では家族の目があつたりして勉強できない方がいらっしやれ

	ば、アクティブセンターに寄って1時間でも勉強できればと思います、提案した。 <団体A退室> <採点>
--	---

(イ) (一財) 下関市公営施設管理公社 (以下、「公社」という。)
入室5人

発言者	内容
公社	(プレゼンテーション資料及びパワーポイントにより提案内容説明)
A委員	築30年を超えた施設であるが、修繕についてのご提案をいただいている。年間で24万円の修繕料を提案いただいている。先日もアリーナの天井が落下した。施設運営する中で、今の指定管理者として危険な箇所の気付きはあるか。
公社	提案の中でも説明したとおり、常に職員が巡回しながら、大事になる前に修繕をするといった対応をとっている。修繕については、市とも話をしながら、利用者から要望が強い箇所については修繕が出来ている。
A委員	大規模な修繕に関しては、市と連携して修繕していただきたい。次の点であるが、長府扇町にある施設であるため、提案の中でもあるように長府扇町の協議会との連携が必要であるが、なかなか十分に連携できていない部分もあるかと思う。今後は、どのように連携していく予定か。
公社	長府扇町の安全協議会との連携が必要である。今年度において、安全協議会の一斉メールを利用させていただいて、アクティブセンターに対する認識に関するアンケートを行った。回答としては、「知らなかった。」「どのような利用ができるか分からない。」といったものもあった。そのため、今から連携をする上で、安全協議会の一斉メールを利用してアクティブセンターの周知をしていきたい。先日も一斉メールを利用して講座の周知をしたところである。これからは少しずつアクティブセンターの認識がされていくのではないかと思う。

B 委員	丁度、この週末に企業フェスタが開催され、アクティブセンターもブースを構えて参加した。1 日目は400名、2 日目は600名程度お越しいただいたので、宣伝できたのではないかと思います。 現在、指定管理としての運営をしていく中での課題は何か。また、新しい利用者を増加するための取り組みはどのように考えているか。
公社	アリーナの利用率は70%～80%と高いが、会議室の利用率は40%程度である。長府扇町の安全協議会に所属する企業に会議室がない場合もあるため、そういった企業にいかにも利用いただくか、近い場所であるため、安全協議会と連携していきたい。 新規の利用者の増加については、アクティブセンターの裏手にボートレース企業局にてピククルボールのコートを整備する予定であるため、アクティブセンターにおいて、ピククルボールの講座を開催するなどして、新規の利用者を増加したい。 <公社退室> <採点>

イ 下関市勤労青少年ホーム（公募）

公社 入室5人

発言者	内容
公社	（プレゼンテーション資料及びパワーポイントにより提案内容説明）
A 委員	この施設は、あと2年とのことで説明いただいたが、必ず2年で終わりと決まったわけではない。方針上、令和10年終了予定であるため、そこに向けてご準備いただいているという理解である。 さよならイベントのご提案については、自主事業としての企画という理解でよいのか？
公社	自主事業で実施する。
A 委員	もし閉館が延長となった場合は、その時に検討いただくという理解でいる。

	施設の状態についてであるが、現時点で危険なところがあるか。
公社	本年度に、市に壁のクラックを修繕していただいた。利用者に影響がある箇所は修繕していただいた。その他のクラックがある箇所が時々落下している。落下が発生している箇所は職員しか通らない場所なので、気を付けながら管理運営している。
A 委員	人件費について伺う。配置職員が 2 名という提案であるが、管理責任者は常駐か？
公社	現在、所長はアクティブセンターの所長と兼務になっている。
A 委員	提案いただいている金額は、2 名の常駐分ということで良いか。
公社	基本的には、常駐の職員 2 名とアルバイト分である。
A 委員	熱中症対策について伺う。アクティブセンターでは、W B G T 計測器を置いているということであるが、勤労青少年ホームでも同じような対応をしているか。
公社	現在は、温度計で管理している。その他には送風で対応している。
A 委員	指数が一定以上に上がった際の対応はどうしているか。
公社	指数が上がった場合は、隣の娯楽室はエアコンを効かせているため、そこで休憩いただくよう案内している。 ＜公社退室＞ ＜採点＞

ウ 下関市商工業振興センター

「下関市商工業振興センターに係る指定管理候補者の選定結果について」に掲載

エ 下関市勤労福祉会館

応募者：(公財) 下関勤労福祉振興財団(以下、「財団」という。)
(非公募・単独指定)

入室 3 人

発言者	内容
財団	(申し込み時の資料に基づき、提案内容説明)
B 委員	まず職員数について、常勤 6 人・非常勤 8 人の計 14 人とかなり多い印象を持った。14 人というのは指定管理業務の条件で人数が決まってるわけではないと思われるが、例えば少し人数を減らして他の職員の賃金を上げる等の取組みを検討すべきなのか、それともやはりこの人数が必要だと考えておられるのか見解を伺う。
財団	現在、自身含めて労働相談員と合わせて 14 名である。指摘のとおり、人数は確かに多いと感じている。この 1～2 年でこちらにいる職員、自身も含めて高齢化が進み、次につなげるべく採用をしていきたいところであるが、今年 2 名、昨年は 1 名退職した。継続して、継いでいく人材を教育していなければならない。それが 1 年では難しいということで、先を見据えた採用を行っている。現在、体育館の担当でパート雇用をしているが、人数が多いようにも考えており、削減可能ではないかと考えており、それらの内容で申込書に記載しているところである。賃金を上げることは考えてはいないが、人数的には削減ができるのではないかと考えている。
A 委員	委託料の関係について、職員募集で苦慮しているところも聞き及んでいるところであるが、人件費の部分が運営に影響が大きい部分であると思われるため、今後人件費の面では努力されたいと思う。 利用人数の目標推移について、令和 8 年度から 10 万人、11 万人、12 万人ということで、先ほどの説明でも努力すると伺ったが、具体的なプランがあれば伺いたい。
財団	具体的なプランがあるわけではないが、実際には今 8 万人ちょっとくらいである。先ほどから説明しているとおり、空調工事、耐震工事、ウイルスなどで利用者がかなり減った。利用者は高齢者が多いが、高齢者の方はコロナで遠慮される方が多く、かなり利用者数が落ち込んだ経緯がある。一度離れた利用者はなかなか戻ってこず、苦戦している。職員が電話で『どうですか？使いませんか？』とアプローチもかなりしたが、今の利用状況になってい

	る。今後は、利用が減ってきている企業や組合の方などに電話などで直接お願いしたりして利用者数を維持している実態である。まずコロナ前の数字に戻すことを目標にしてる。そのために、利用者のニーズを把握するためにアンケート結果も参考にこれからも工夫したいと考えている。多少過大な人数となっていると思われるかもしれないが、できるだけ目標に近づけたいです。
A委員	アンケートではどのような意見が多かったか？
財団	2年間の工事があったため、その間に他の施設に移ってしまい、利用者が減った。コロナもあって利用が戻らない。その間に解散している利用団体もあり、『また使ってくださいませんか？』と呼びかけてるが、なかなか戻ってこない状況である。
A委員	会議室についての状況とは別で、体育館の利用者は比較的多い、あのような感じの体育館は他にあまりないため、利用者が多い、という話を聞いているが、どのような状況か。
財団	体育館の利用については、ほぼ例年並みであり、右肩上がりといったものでもなく、ここ数年同じような数字となっている。トレーニングルームについては、右肩上がりといった状況。機材がかなり古いにも関わらず、愛用している利用者もあり、右肩上がりのように増えている。新しい機材導入の話も出てるので、何とか利用者をもっと増やしたい。
A委員	機材がだいぶ古い？
財団	そうである。
A委員	今度、リニューアルという話もあるため、そこも含めて、利用者を増やすことについて考えていただきたい。また、提案している自主事業については、基本的には、現在の自主事業を継続してやっていくということか？
財団	今やっている講座はだいたい継続予定である。あとは、就労支援やスキルアップなど、勤労者のライフサイクルに合わせた支援を重点的に取り組んでいくことを考えている。オンラインで講座が

	できないかも研究している。
A委員	インターネット環境はあるか？
財団	インターネットは今はないが、I T関係のものは考えている。《質問を取り違えたものと思料》（事務局追記） W i - F i は4階は使えないが、1階から3階まで全面に設置している。その辺も含めて、企業が使いやすいという声はいただいている。
A委員	フリーW i - F i か。
財団	フリーW i - F i である。
C委員	資料を見ると令和6年度の利用者数が4万8千人となっている。これは他で出ている数字よりも大分少なくなっているのだが、これはいままで話があった施設の改修などに起因するものなのか？また、利用者数を増やすということになれば、体育館の利用者数を増やすのが一番効果的であるように考えられるがいかがか。
財団	体育館の利用者数は、今後はあまり増えないと考えている。冷暖房設備が体育館にはないので夏場は利用者自体がかなり控えるというのが多い傾向にあり、人数を増やすということは難しいのではないかと感じている。本館については、今の利用率は年間を通じて50%を切ってきた。これは問題があると思っており、もともとは50%超えの中でやってきたところ。せめて50%を切らないように、先ほどの自主事業の話でもあったが、企業やサークルなど色々な団体が別の場所に移ってしまっている方もいるため、留めるために地道に声掛けをして維持をしていきたい。
C委員	資料3ページの令和6年度見込数48,000人というのは特殊要因があったということによろしいか。
財団	令和6年度は耐震工事があり、半年ほど休館となったため、この数字となっている。《令和6年度の実施工事は空調設備更新工事であったため、認識誤りと思料》（事務局追記）

D委員	収支計画、特に人件費の項目であるが、年々最低賃金は上がっているが、年によって若干上がったり下がったりしている。そのあたりの理由を伺う。
財団	令和8年度に退職者1人、継続雇用の退職があるため、その分200万円くらい減額になる。その後、正規の職員の基本給が低いので、若干変動があるため。
D委員	賃金のベースアップ加味されているか？
財団	している。 ＜財団退室＞ ＜採点＞

（５）選定審査

◆下関市勤労者総合福祉センター

発言者	内容
事務局	1者目の団体Aの平均点68.6点、60点未満とした委員は1人、各項目の合計点は343点。2者目の一般財団法人下関市公営施設管理公社の平均点76.0点、60点未満とした委員は0人、各項目の合計点は380点。2者ともに申込団体としての条件を満たしており、各項目の合計点が最も高い団体は、一般財団法人下関市公営施設管理公社である。
委員長	一般財団法人下関市公営施設管理公社は応募団体としての条件を満たし、かつ、各項目の合計点が最も高い団体と報告がなされた。指定管理候補者として選定し、その上で意見があれば。 ＜意見なし＞
委員長	一般財団法人下関市公営施設管理公社を指定管理候補者として市長へ答申し、その際の付帯意見は「なし」としてよろしいか。 ＜異議なし＞

◆下関市勤労青少年ホーム

発言者	内容
事務局	「下関市勤労青少年ホーム」は、一般財団法人下関市公営施設管理公社の平均点 75.8 点、60 点未満とした委員は 0 人、各項目の合計点は 379 点で、申込団体としての条件を満たしている。
委員長	条件を満たすとの報告がなされた。指定管理候補者として「適格」と判断し、その上で意見があれば。 ＜意見なし＞
委員長	「適格である」と市長へ答申するものとし、その際の付帯意見は「なし」でよろしいか。 ＜異議なし＞

◆下関市商工業振興センター

「下関市商工業振興センターに係る指定管理候補者の選定結果について」に掲載

◆下関市勤労福祉会館

発言者	内容
事務局	「下関市勤労福祉会館」は、公益財団法人下関市勤労福祉振興財団の平均点 72.6 点、60 点未満とした委員は 0 人、各項目の合計点は 363 点で、申込団体としての条件を満たしている。
委員長	条件を満たすとの報告がなされた。指定管理候補者として「適格」と判断し、その上で意見があれば。
A 委員	人件費について、業務量に応じた人数調整、最低賃金への配慮についてなど、意見を付したいと思うが、他の委員の意見はどうか。
委員長	何か意見や異存のある委員はいるか。
各委員	《意見、異存なし》事務局追記 「適格である」と市長へ答申するものとし、その際の付帯意見については「人件費について、人数も含め適切な運用をするよう検

	討されたい。」としてよろしいか。 <異議なし>
--	---

(6) 閉会